

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

小千谷市長 宮崎 悦男

市町村名 (市町村コード)	小千谷市 (152081)
地域名 (地域内農業集落名)	南部地区 真人里地(上沢、万年、栗山、本村、干山、源藤山、石名坂、中山)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月15日ほか (第7回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・水利条件が悪く、水の確保が困難なエリアがある。
- ・担い手不足が大きな課題。これにより、農地や農業設備の維持管理作業が困難になっている。
- ・耕作を続けるには、農道や水路整備が不十分なエリアがある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

農地集約化、農業設備の整備、農業機械の共同管理、管理組合の再編成、スマート農業化の推進などで、減少する担い手が農業しやすく、農業経営が継続できる環境を整えていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要 ※真人地区全域の面積を記載

区域内の農用地等面積	328 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	328 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に、農地置換を含めた集約化について検討を継続する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地中間管理機構に貸付け、担い手の経営意向を斟酌し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
一部団地で計画中。必要に応じ、今後も検討を継続する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
市やJA等と連携し、多様な経営体の育成に取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④輸出	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨その他		

【選択した上記の取組方針】

- ・井戸の整備やほ場整備で、水源の確保に努める。
- ・農業機械の共同管理を検討する。
- ・水利組合などの管理組合の再編成を検討する。
- ・スマート農業化を進める。